

2017年度 日本福祉大学主催

「社会福祉士実習指導者講習会」受講者募集要項(5月開催分)

◇開催概要

□開催日

2017年5月15日(月)～16日(火)【2日間】

□会場

日本福祉大学 名古屋キャンパス(名古屋市中区)

□受講料

10,000円

□定員

30名程度

□主催

学校法人 日本福祉大学

日本福祉大学 社会福祉実習教育研究センター

□協力

一般社団法人 愛知県社会福祉士会

◇開催の趣旨

2007年の「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正による新たな社会福祉士養成カリキュラムへの移行に伴い、2011年度末までの経過措置期間を経て、2012年度より、社会福祉士実習指導者の必須の要件として、社会福祉士資格登録後の3年以上の「相談援助実務経験(※)」に加え、「社会福祉士実習指導者講習会の修了」が課せられるようになりました。

この間、各都道府県の社会福祉士会を中心に同講習会が全国で展開され、多くの方が修了されていますが、本学としましても、社会福祉士を志す学生の実習教育にかかる期待、そして、社会福祉現場からの専門職養成にかかる期待にこたえるため、2010年度より、一般社団法人愛知県社会福祉士会の協力を得て、同講習会の企画・運営に取り組んでいます。

今回の講習会は、2017年度に本学の社会福祉士実習生をお受け入れいただく施設・機関等において新たに社会福祉士実習指導者へ就任される方を対象として開催するものです。

※社会福祉士及び介護福祉士法施行規則(昭和62年厚生省令第49号)第2条及び「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について(昭和63年2月12日付社庶第29号)」参照

◇プログラム

1日目 2017年5月15日(月)				
開始・終了時刻	時間	内容	教室	担当・講師
9:20～9:30	10分	開講式・オリエンテーション	北館8階8A・8B	主催者代表・事務局
9:30～11:30	2時間	【講義】実習指導概論		花井文治
11:30～12:15	45分	昼食・休憩		—
12:15～14:15	2時間	【講義】実習マネジメント論		大林由美子
14:15～14:30	15分	休憩		—
14:30～17:30	3時間	【講義】実習プログラミング論		明星智美
2日目 2017年5月16日(火)				
開始・終了時刻	時間	内容	教室	担当・講師
9:30～11:30	2時間	【講義】実習スーパービジョン論	北館8階8A・8B	神林ミユキ
11:30～12:15	45分	昼食・休憩		—
12:15～17:15	5時間	【演習】実習スーパービジョン論		神林ミユキ
17:15～17:30	15分	閉講式 (全科目を受講された方に修了証を交付)		神林ミユキ・事務局

◇受講対象者(下記①及び②の両方に該当する方を優先)

①社会福祉士資格登録後の3年以上の相談援助実務経験を有し、現在、社会福祉施設・機関等で「相談援助実務」に従事している方。

②2017年度に本学の社会福祉士実習生をご指導いただく予定であったものの、人事異動や退職等で離任された方の後任者として、社会福祉士実習指導者に就任いただく予定の方。

※上記①及び②の両方、あるいはどちらかに該当する方を優先してお受けいたしますが、定員に余裕がある場合には、その限りではありません。

※上記①及び②に該当する方であっても、同一事業所で複数名のお申し込みを頂いた場合、定員充足状況によりすべての方の受講ができるとは限りません。

◇受講申込方法

本年4月18日(火)までに、添付の「2017年度日本福祉大学社会福祉士実習指導者講習会(A日程)受講申込書」に必要事項をご記入の上、本学へ郵便またはFAXでご送付ください。また、その際には、受講資格確認のため、「社会福祉士登録証」の写しを添付してください。

※学内会議での確認を経て、受講申込者全員に対して、受講可否にかかる(内定)通知を郵送します(4月21日[金]以降に発送予定)。受講が内定された方に対しては、その際に、受講料(10,000円)の納付方法や事前にご提出いただく課題等についてご案内します。

◇受講申込書送付先・お問い合わせ先

日本福祉大学 社会福祉実習教育研究センター 社会福祉士実習指導者講習会 担当

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町大字奥田字会下前35-6

TEL:0569-87-2971/FAX:0569-87-2340

E-mail: jishu@ml.n-fukushi.ac.jp

◇講師紹介

花井 文治 (はない ふみはる)・・・「実習指導概論」担当

- <現 職> 日本福祉大学中央福祉専門学校 社会福祉士科夜間課程 学科長 (社会福祉士)
- <担当科目> 地域福祉の理論と方法、相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、相談援助実習指導Ⅰ・Ⅱ、相談援助実習
- <最終学歴> 日本福祉大学大学院 社会福祉学研究所 福祉マネジメント専攻修士課程 修了
- <略 歴> 名古屋市職員、社会福祉法人和進奉仕会、日本福祉大学・日本福祉大学中央福祉専門学校非常勤講師、東海医療福祉専門学校専任教員を歴任、2016年度より現職
- <主な研究業績> 「地域福祉の拠点としての認知症対応型高齢者グループホーム ―その機能と役割―」(修士論文)

大林 由美子 (おおばやし ゆみこ)・・・「実習マネジメント論」担当

- <現 職> 日本福祉大学 福祉経営学部(通信教育) 助教 (社会福祉士)
- <担当科目> 相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、相談援助実習指導Ⅰ・Ⅱ、相談援助実習、ソーシャルワークと専門職
- <最終学歴> 日本福祉大学大学院 医療・福祉マネジメント研究科 修士課程 修了
- <略 歴> 知立市社会福祉協議会(地域包括支援センター)
 本学社会福祉実習教育研究センター実習教育講師を歴任、2014年より現職
- <主な研究業績> 「町づくりと介護予防―地域包括支援センターと社会福祉協議会のマネジメントを中心として―」2011年(単著)
 「地域づくりを意図したサロンの立ち上げ支援のプロセス分析―知立市での取り組み事例から―」2012年(単著)
 「巡回指導時における「ふりかえり表(実習生自己評価表)」の活用実態に関する調査研究」2013年(共著)
 「ソーシャルワーク実習評価にみられる専門職養成の課題の重層性―7つの専門職の実習評価項目の比較結果に基づいて―」2014年(共著)
 『ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習』中央法規出版、2015年(共著)

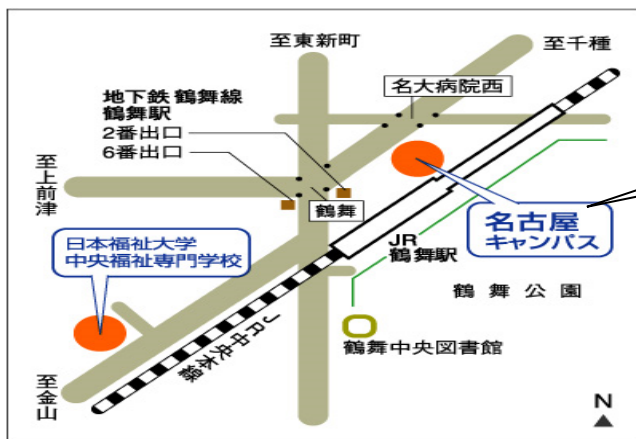
明星 智美 (みょうじょう ともみ)・・・「実習プログラミング論」担当

- <現 職> 日本福祉大学 福祉経営学部(通信教育) 准教授 (社会福祉士)
- <担当科目> 公的扶助論、社会福祉学、社会福祉援助技術論Ⅰ、社会福祉と権利擁護、ソーシャルワークと専門職、相談援助実習、相談援助実習指導Ⅰ・Ⅱ、相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 等
- <最終学歴> 日本福祉大学大学院 社会福祉学研究所 修士課程 修了
- <略 歴> 福岡県飯塚市職員、久留米大学文学部社会福祉学科助手、本学社会福祉教育研究センター社会福祉実習教育講師、及び同助教を歴任し、2013年より現職
- <主な研究業績> 『21世紀の社会福祉実践―何を守り、何を切り拓くのか(上)』あけび書房、2003年(共著)
 『社会福祉専門職論』中央法規出版、2007年(共著)
 『相談援助実習―ソーシャルワークを学ぶ人のためのテキスト』中央法規出版、2009年(共著)
 『ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習』中央法規出版、2015年(共著)

神林 ミユキ (かんばやし みゆき)・・・「実習スーパービジョン論」担当

- <現 職> 日本福祉大学 福祉経営学部 (通信教育) 助教 (社会福祉士)
- <担当科目> 保健福祉サービス、相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、相談援助実習指導Ⅰ・Ⅱ、相談援助実習、ソーシャルワークと専門職
- <最終学歴> 日本福祉大学大学院 社会福祉学研究所 修士課程 修了
- <略 歴> 在宅介護支援センター職員、医療ソーシャルワーカー、福祉専門学校社会福祉科教員を歴任し、2013年より現職
- <主な研究業績> 「養成校学生および資格取得3年未満の社会福祉士人材育成について」2012年(神奈川県社会福祉士会)
 「巡回指導時における「ふりかえり表(実習生自己評価表)」の活用実態に関する調査研究」2013年(共著)
 「ソーシャルワーク実習評価にみられる専門職養成の課題の重層性―7つの専門職の実習評価項目の比較結果に基づいて―」2014年(共著)
 『ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習』中央法規出版、2015年(共著)
 「社会福祉士が『目指す専門職像』は、社会からの期待に応えられているか」2017年(単著)

◇会場案内



当講習会の会場は日本福祉大学「**名古屋キャンパス**」です。
 ※「**日本福祉大学中央福祉専門学校**」の建物とは異なりますので、ご注意ください。

※会場には、受講者用の駐車場はございませんので、公共交通機関でお越しください。

日本福祉大学 名古屋キャンパス
 所在地：愛知県名古屋市中区千代田 5-22-35
 電話：052-242-3022